

《緊急時個別対応カード》

年 組

(男・女)さん

原因食物		エピペン®	
		保管場所	
保護者 連絡先①	☎ ()	児童生徒との 関係	内服薬 名称
保護者 連絡先②	☎ ()	児童生徒との 関係	搬送先 希望病院

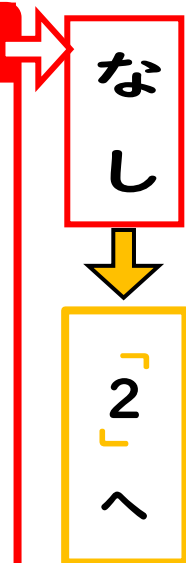
☎ ※搬送先は救急隊の判断となります。

※保護者様 上記太枠部分の記入をお願いいたします。

子どもから目を離さず、応援を依頼!

◆救急搬送の受け入れ及びアレルギー症状の判断等に困った場合
 <ホットライン(慈恵第三病院)へ連絡>

5分以内に判断する 1. 緊急性が高いアレルギー症状はあるか?



- | | |
|-----|---|
| 全身 | <input type="checkbox"/> ぐったり (:)
<input type="checkbox"/> 意識もうろう (:)
<input type="checkbox"/> 尿や便を漏らす (:)
<input type="checkbox"/> 脈がふれにくいまたは不規則 (:)
<input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い (:) |
| 呼吸器 | <input type="checkbox"/> のどや胸が締め付けられる (:)
<input type="checkbox"/> 声がかすれる (:)
<input type="checkbox"/> 犬が吠えるような咳 (:)
<input type="checkbox"/> 息がしにくい (:)
<input type="checkbox"/> 持続する強い咳き込み (:)
<input type="checkbox"/> ゼーゼーする呼吸 (:) |
| 消化器 | <input type="checkbox"/> 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み (:)
<input type="checkbox"/> 繰り返し吐き続ける (:) |

1つでもあてはまる場合


① **ただちにエピペン®を使用** (:)
 ※内服薬を飲んだ後にエピペン®を使用しても問題ない

② **救急車を要請する(119番通報)** (:)

③ **その場で安静を保つ**
 (動かさない 仰向け 顔は横向き 足を上げる)

④ その場で救急隊を待つ

⑤ 可能なら内服薬を飲ませる(:)



応答・呼吸が無い場合

- ・心臓マッサージ
(1分間に100~120回)
- ・AEDの措置

※救急隊に引き継ぐまで継続する

ただちに救急車で医療機関へ搬送(説明できる人が随行)

※症状は急激に変化することがあるため、5分ごとに「1」「2」「3」の症状があるか、注意深く観察する！

2. 下記の症状が1つでもあてはまるか？

なし

- 呼吸器 数回の軽い咳 (:)
- 消化器 中等度のお腹の痛み (:)
- 1~2回のおう吐 (:)
- 1~2回の下痢 (:)
- 目・口・鼻・顔面 顔全体の腫れ (:)
- まぶたの腫れ (:)
- 皮膚 強いかゆみ (:)
- 全身に広がるじんま疹 (:)
- 全身が真っ赤 (:)

1つでもあてはまる場合

3. 下記の症状が1つでもあてはまるか？

- 消化器 軽いお腹の痛み (:)
(がまんできる)
- 吐き気 (:)
- 目・口・鼻・顔面 目のかゆみ、充血 (:)
- 口の中の違和感 (:)
- 唇の腫れ (:)
- くしゃみ・鼻水・鼻づまり (:)
- 皮膚 軽度のかゆみ (:)
- 数個のじんま疹 (:)
- 部分的な赤み (:)

1つでもあてはまる場合

① 内服薬を飲ませ、エピペン®を準備する (:)

② 速やかに医療機関を受診する (救急車の要請も考慮)

医療機関に到着するまで、5分ごとに症状の変化を観察し、「1」の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン®を使用する。

速やかに医療機関を受診

① 内服薬を飲ませる (:)

② 少なくとも5分ごとに症状の変化を観察。一時間程度経過し、症状の改善がみられない場合は医療機関を受診する。

③ 容態が進行し、「1」または「2」の症状にあてはまる場合は、それに合わせた対応をする。

安静にし、注意深く経過観察

安静を保つ体位

ぐったり、意識もうろうの場合



血圧が低下しているおそれがあるため、仰向けで足を15~30cm高くする。

吐き気、おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、体と顔を横における。

呼吸が苦しく仰向けになれない場合



呼吸を楽にするため、上半身を少し起こし、後ろに寄りかからせる。